


— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 —

使用上の注意改訂のお知らせ

2011年11月

製造販売元

 **日新製薬株式会社**
山形県天童市清池東二丁目3番1号

持続性選択H₁受容体拮抗剤

エバスチン錠5mg「NS」

エバスチンOD錠5mg「NS」

エバスチン錠10mg「NS」

エバスチンOD錠10mg「NS」

エバスチン製剤

エバスチン口腔内崩壊製剤

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

この度、標記製品の【使用上の注意】を下記のとおり改訂させていただきますのでご案内申し上げます。
なお、新添付文書を挿入しました製品をお届け致しますまでには若干の日時を要するものと思われま
すので、この点ご了承賜りますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容

（下線部追記）

改訂後	改訂前																								
<p>3. 相互作用 本剤は、主として代謝酵素 CYP2J2 及び CYP3A4 で代謝される。</p> <p>併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>エリスロマイシン</td><td>本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されている。</td><td>カレバシチンの代謝が抑制されると考えられる。</td></tr><tr><td>イトラコナゾール</td><td>本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が上昇することが報告されている。</td><td></td></tr><tr><td>リファンピシン</td><td>本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が低下することが報告されている。</td><td>カレバシチンの代謝が促進されると考えられる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エリスロマイシン	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されている。	カレバシチンの代謝が抑制されると考えられる。	イトラコナゾール	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が上昇することが報告されている。		リファンピシン	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が低下することが報告されている。	カレバシチンの代謝が促進されると考えられる。	<p>3. 相互作用 ←追記</p> <p>併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>エリスロマイシン</td><td>本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されている。</td><td>エリスロマイシンによりカレバシチンの代謝が抑制されると考えられる。</td></tr><tr><td>←追記</td><td></td><td></td></tr><tr><td>←追記</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エリスロマイシン	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されている。	エリスロマイシンによりカレバシチンの代謝が抑制されると考えられる。	←追記			←追記		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
エリスロマイシン	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されている。	カレバシチンの代謝が抑制されると考えられる。																							
イトラコナゾール	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が上昇することが報告されている。																								
リファンピシン	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が低下することが報告されている。	カレバシチンの代謝が促進されると考えられる。																							
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
エリスロマイシン	本剤の代謝物カレバシチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されている。	エリスロマイシンによりカレバシチンの代謝が抑制されると考えられる。																							
←追記																									
←追記																									

2. 改訂理由

・自主改訂

- ・今回の改訂内容は、日本製薬団体連合会発行 医薬品安全対策情報（DSU）No.204 に掲載される予定です。
- ・医薬品添付文書改訂情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）に最新添付文書並びに医薬品安全対策情報（DSU）が掲載されます。
また、弊社ホームページ（<http://www.yg-nissin.co.jp/>）に最新添付文書が掲載されていますので、併せてご利用下さい。